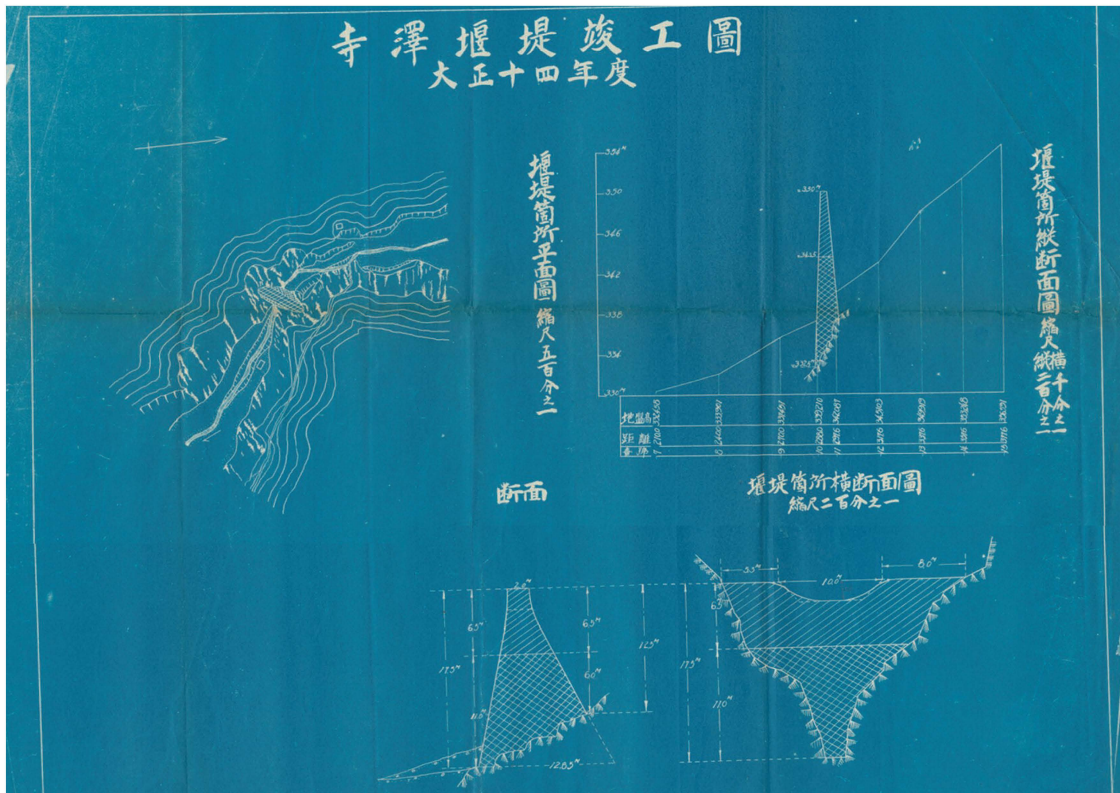


歴史的砂防施設: 寺澤堰堤 (Terasawa Dam)

SABO-DATA (CIGrMM)

所在地: 神奈川県足柄上郡山北町世附
形式: 不透過型重力式石積堰堤
管理者: 神奈川県県西土木事務所

溪流名: 二級河川酒匂川水系 寺の沢
規模: 高さ15.5m 堤頂長23.3m
完成年度: 大正14年度



ランダム情報

震災復旧砂防事業（直轄施行）で大正13年に着手、14年度に竣工した。震災後、本流の世附川では河床上昇が顕著であったが、川幅が広く堰堤整備適地が無いため、支流に堰堤が計画されたとの記録がある。

こだわり技術

基礎部のみならず、左右にせり出した堅硬な岩盤に乗せるように築造された堰堤。
令和元年東日本台風による災害で破損した水通しや袖部の災害復旧工事にあつた監督員のエピソードとしては、「破損した水通しと欠損した袖部の復旧は、前面に支保を構築し安全第一で、自然石を使用し、当時の工法をなぞる様にして施工した。セメント不足の当時としては思いのほかコンクリートが充填されていたことは驚きだった。伝統工法は、幸いにも熟練の石工が当たり、当時、流行った？流線形の袖部の補修は、100kgを超える隅石の釣り直しにも苦労した。築造から100年。理想的な位置に造られた堰堤は、今日もその役割を遺憾なく発揮している。」